

国際化を問う

グローバル化の諸問題

産経新聞社主催のフォーラム「二十一世紀グローバル社会をイメーシする」共同討議のテーマは「グローバル化の諸問題」改めて日本人の「国際化」を問う。大阪大学人間科学部教授の青木保氏を議長に、九人の討論者が、湾岸戦争後の日米関係や国際情勢を検証し、たうで、南北問題や国連において日本の果たすべき役割などをめぐって話し合った。

FORUM'91

出席者

(50音順、敬称略)

- 議長 青木 保 (大阪大学人間科学部教授)
- 討論者 千本 倅 (第二電機株式会社専務取締役)
- 竹中 譽 (日本アイ・ビー・エム株式会社 常務取締役)
- 中嶋 嶺雄 (東京外国語大学教授)
- 齋 和夫 (経済団体連合会常務理事)
- 長谷川 三千子 (埼玉大学教授)

共同討議 I



青木 保議長

世界への貢献は「責務」

日本人に強い「異質論」

論議と企業の論議の板挟みにあっている。 十日ほど前に米アラバマ州で開かれた米英の会談で、米副大統領が、日本に強い「異質論」を述べた。米副大統領は、日本は「異質論」を述べた。米副大統領は、日本は「異質論」を述べた。



榊沢 和夫氏



竹中 誉氏



光田 明正氏

るのに、人間性の面では、実態以上に悪く言われていると思う。一、三年前にダイヤモンド社が「世界の一人当たりの国民白書」を出した。そのデータを見ると、日本は世界一の長寿国で犯罪発生率は世界一低い。教育水準が高く、国民所得も多い。これは数字で見ると、人類が追い求めてきたパラダイスではないだろうか。なのになぜ日本は袋だたきにあうのか。日本アイ・ビー・エムを例にとって考えてみると、就業時間は毎日午後五時三十分までと決まっている。これは週休二日制に移した際に、土曜日の三時間の勤務時間を単純に五日に等しく配分した結果なのだが、外部の人からは「さすが外資は分刻みの管理ですね」と言われる。外資は一味違うということにしないと、日本人は納得しない。アメリカにも日本人異質論があるが、それは「異質論」は外国異質論を一番強くもっているのは日本人だと思う。

上、参画するのは当然である。お金を出し、知恵を出し、人を出す。諸外国はみんな出資金に見合った参画をしている。国連と違って、約四十もの専門機関がある。日本は安全保障理事会以外では大国である。イギリス、アメリカの脱退しているユネスコでは最大の出資国である。にもかかわらず、ユネスコにおいても、出資国として出していない。国連では「世界から求められているか」という質問に答える必要はない。

吉田 土野 満…反論せぬ日本人

光田 明正氏、榊沢 和夫氏、竹中 誉氏、齋 和夫氏、長谷川 三千子

光田 明正氏、榊沢 和夫氏、竹中 誉氏、齋 和夫氏、長谷川 三千子

欠けている貢献の条件

光田 明正氏

野戦病院で多国籍軍兵士もイラク軍兵士も手当てした。すくいは、医師のほかに三千人ものボランティアが参加し、さらにボランティアが帰国後に元の職場に復帰できるシステムを整えていたことである。それに対して日本は一人の医師も送っていない。スウェーデンは人口もGNPもアラブの石油依存度も日本の十五分の一である。日本

欠けている貢献の条件

光田 明正氏

野戦病院で多国籍軍兵士もイラク軍兵士も手当てした。すくいは、医師のほかに三千人ものボランティアが参加し、さらにボランティアが帰国後に元の職場に復帰できるシステムを整えていたことである。それに対して日本は一人の医師も送っていない。スウェーデンは人口もGNPもアラブの石油依存度も日本の十五分の一である。日本